



2023年1月12日

各位

会社名 ビーウィズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森本 宏一  
(コード番号：9216 東証プライム)  
問合せ先 取締役副社長執行役員 飯島 健二  
(TEL 03-6631-6005)

### 2023年5月期第2四半期の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年7月14日に公表いたしました2023年5月期第2四半期連結累計期間(2022年6月1日～2022年11月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月期通期の連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異

(2022年6月1日～2022年11月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,400	百万円 1,090	百万円 1,090	百万円 750	円 銭 54.75
今回実績値(B)	16,603	765	792	523	38.22
増減額(B-A)	△796	△324	△297	△226	—
増減率(%)	△4.6	△29.8	△27.3	△30.1	—
(参考)前期第2四半期実績 (2022年5月期第2四半期)	15,790	1,280	1,298	848	66.32

(注) 2021年10月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 2. 差異の理由

2023年5月期第2四半期連結累計期間の実績は、期初時点での計画として見込んでいた新型コロナウイルスに伴うSPOT案件獲得の遅れや、それに対する民間需要案件による充当の遅延が生じたことから、前回公表の連結業績予想を下回る結果となりました。

### 3. 2023年5月期通期連結業績予想の修正（2022年6月1日～2023年5月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 36,200	百万円 2,840	百万円 2,840	百万円 1,950	円 銭 142.34
今回修正予想（B）	35,500	2,280	2,310	1,560	113.65
増減額（B－A）	△700	△560	△530	△390	－
増減率（％）	△1.9	△19.7	△18.7	△20.0	－
（参考）前期連結実績 （2022年5月期）	32,405	2,565	2,591	1,776	136.40

#### 4. 修正の理由

2023年5月期通期業績予想につきましては、第2四半期までの業績動向等に加えて、足元のコンタクトセンター・BPO事業の受注状況を踏まえ、修正いたします。

下期の売上高につきましては、拠点稼働率の改善のほか、営業案件の増加により、期初予想値における下期計画をやや上回る見通しではあるものの、通期での売上高としては第2四半期までにおける計画遅延を補うまでには至らない見込みです。

下期の営業費用及び各段階利益につきましては、下期の売上高が堅調に推移することで一定の利益創出が見込まれることや、計画していた発生コストの一部見直しを図ることで、外形標準課税等の上場後に新たに生じたコストを吸収した上で、前年同期と同水準の利益率を確保できる見通しです。その一方、第2四半期までの業績動向を踏まえ、収益性の高いSPOT案件の売上高比率を上期実績値程度へと保守的に計画修正することとします。また、継続案件についても足元の業績状況に鑑み期初計画時の利益率を見直しし、前年並みの利益率に修正しております。その結果、連結営業利益・連結経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも、期初計画の利益水準までには至らず、通期連結業績予想においては前回公表の数値を下回る見通しとしております。

なお、配当予想につきましては、前回公表の予想数値どおり1株当たり49円を予定しております。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上